

科目名	英語コミュニケーション論		担当教員	大石 晴美	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1EEC101
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	中学校及び高等学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身に付ける。英語運用能力としてはCEFR B2レベル以上を目標とする。また、生徒に対して理解可能な言語インプットを与え、生徒の理解を確かめながら英語でインタラクションを進めていく柔軟な調整能力を身に付ける。具体的には、中学校高等学校の学習指導要領に準じ、英語でコミュニケーションを図るために、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことにおいて、一般的で包括的な基礎知識とスキルとストラテジーを身につけることが目標である。テーマ：英語コミュニケーション理論から実践へ				
授業の概要	さまざまな人々、さまざまな状況に応じて、英語で円滑なコミュニケーションをとるためのスキルとストラテジーを身につける。そのために、まず、英語コミュニケーション能力とは何かを言及する。そして、さまざまな要因によって生じる発音や表現の違いについて概説する。主に、国や地域による文化や言語表現の違い、敬語表現、発話行為、非言語表現の違いをとりあげ、社会において円滑なコミュニケーションができる運用能力を身につける。また、中学校高等学校での英語科教育への応用として、英語で聞くこと、話すこと、読むこと、書くことにおいて、社会におけるコミュニケーションの観点から留意点を議論する。				

授業計画	
第1回	講義概要説明
第2回	英語コミュニケーション能力とは（聞く、話す、読む、書くことについて）
第3回	リスニングストラテジー
第4回	スピーキングストラテジー
第5回	リーディングストラテジー
第6回	ライティングストラテジー
第7回	伝達能力と言語教育
第8回	世界各地の英語
第9回	言語習得と異文化接触
第10回	言語政策と言語計画
第11回	ピジンとクレオール
第12回	英語の敬語表現
第13回	発話行為と丁寧さ
第14回	非言語伝達
第15回	英語コミュニケーション論についてのまとめのテスト

事前学修	2時間	文献を読む 教科書を読む
事後学修	2時間	小レポートをまとめる
フィードバックの方法	リアクションペーパーについてコメントする。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	50%	小テスト
上記以外の試験・平常点評価	30%	授業の参加度
レポート	20%	3段階

定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
よくわかる社会言語学	田中春美・田中幸子編	ミネルバ書房	9784623072699	初回の授業までに購入してください。
参考資料				